学校番号	４０７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編古典Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典が苦手な生徒、古典に興味を持てない生徒も多いので、まずは興味を持って取り組めるように工夫をしたい。理解することも興味関心に大きく関わるので、文法事項もわかりやすく教えていくようにする。

２　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期中間	説話に親しむ	古本説話集 平中が事 十訓抄 文字一つの返し 古今著聞集 古式部内侍が大江山の歌のこと コラム 説話に描かれた人物たち	◎	◎	○	a：登場人物や場面，できごと，心情の変化を読み取る。 b：歴史的仮名遣いや古語について理解し，古語辞典を活用し，適切に現代語訳する。 c：古語や和歌の修辞について理解し，古語辞典を活用し，適切に現代語訳している。	〈記述の確認／定期考査〉 〈行動の観察〉
1学期末	物語を読む	竹取物語 火鼠の皮衣 かぐや姫の昇天 辞書を引く 言語活動 今昔物語集と読み比べ	◎		◎	a:登場人物や，できごと，心情を読み取っている。 c：古語について理解し，古語辞典を活用し，適切に現代語訳している。	〈記述の確認／定期考査〉 〈行動の観察〉
2学期中間	随筆を読む	徒然草 公世の二位のせうとに奥山に、猫又といふものありて　よろづのことは頼むべからず 方丈記 ゆく川の流れ 安元の大火	◎		○	a：場所，できごと，登場人物の心情とその変化を読み取っている。 c：古語について理解し，古語辞典を活用し，適切に現代語訳している。	〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉
2学期末	日記を読む	更科日記 門出 源氏の五十余巻 建礼門院右京大夫集 大原まうで コラム 孝標女の見た夢	◎	○		a：作者の「旅」に対する思いと旅立つ準備をする時の心情を読み取っている。 b：古語や発句について理解し，古語辞典を活用し，適切に現代語訳している。	〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉
3学期	史記を読む	故事成語 助長　画竜点睛　朝三暮四 項羽と劉邦 鴻門之会 四面楚歌	◎	○		a:できごとと登場人物の心情を読み取っている。 b：漢文の意味や句法を確認しつつ訓読し，現代語訳している。	〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b：読む能力　　c：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単

元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について〇を付けている。